

○本時に育成したい資質・能力

ALTに自分たちのことをよりよく知ってもらうために、身近なトピックに関する調査とその結果発表を読んで理解し、自分たちのクラスで人気のあるものやことについて、その結果や自分の考えをまとまりのある内容で話すことができる。

○本時のめあて

ALTへの発表に向けて、調査結果や自分の考えをまとまりのある内容で友達に話すことができる。

○本時の展開（めあて、学習課題、学習活動、児童生徒の反応予測・思考の流れ、板書計画、ICTの活用方法等）

1. めあての確認（2分）

Today's Goal: ALTへの発表に向けて、調査結果や自分の考えをまとまりのある内容で友達に話すことができる。

2. グループ発表（12分）[ICT活用：資料提示、録画] **再構築**

- ・グループ内で発表し、友達からフィードバックをもらう。
- ・発表を相互に録画する。



発見・蓄積

3. 中間指導（10分）

分析・整理

- ・全体での中間指導を聞く。（T1・T2・ALT）



①内容の工夫（相手意識） ②調査結果+感想・考察 ③文法的な誤り等言語面の指導

4. 個人で修正（10分） **発見・蓄積** **分析・整理** **再構築**

- ・録画した映像や友達からのフィードバックや中間指導を受けて、展開や内容、伝え方を吟味し、修正する。

5. グループ発表（13分）[ICT活用：資料提示、録画] **再構築**

- ・修正した部分を意識して、グループで再度発表し、録画した映像を個人で振り返る。
- ・録画した映像を提出する。



6. 振り返り（3分）

- ・録画した映像を見ながら、本時できるようになったこと、次回の発表で意識したいことを記入する。

○二つの側面、三つのプロセスとの関係

二つの側面

- A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力
- B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力

三つのプロセス

- ①…発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す
- ②…分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する
- ③…再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する

【A①】教科書（P.84～97）の内容理解を通して、調査結果を伝えるために活用できる表現（比較表現等）を理解する。

【A②】調査結果を分析し、結果を示す図表やグラフなどの資料を基に、聞き手に伝える内容を整理したり話の展開を考えたりする。

【A③】事実や考えなどを整理し、資料を効果的に活用しながら聞き手に分かりやすく発表する。

【B①】指導者のモデルを見て、発表方法の工夫に気付く。Mini ActivityやSmall Talkで比較表現を使いながら、その意味や語順等に気付く、理解する。

【B②】録画した映像や友達の発表を基に自分の発表を振り返るとともに、仲間からのアドバイスや中間指導を生かし、再度聞き手に分かりやすい話の展開になっているか吟味する。

【B③】友達からのアドバイスや中間指導を生かし、聞き手がさらに知りたい内容を加えたり、問いかけなどの工夫をしたりして、分かりやすく発表する。

Presenter: My presentation is about school lunch. 90% of our classmates like school lunch. Our classmates like school lunch better than lunch boxes. "Age pan" is the most popular food in our class. Please try it. Thank you.

A: "age pan"ってALTの先生に分かるのかな？

B: Why do our classmates like school lunch?

Presenter: My presentation is about school lunch. 90% of our classmates like school lunch. Our classmates like school lunch better than lunch boxes because we can eat a hot meal. "Age pan" is the most popular food in our class. Do you know it? It's fried bread with soybean flour. According to the Internet, "age pan" is the most popular food in Japan. So, please try it. Thank you.